

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)

【公表番号】特表 2016-501925 (P2016-501925A)

【公表日】平成 28 年 1 月 21 日 (2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報 2016-005

【出願番号】特願 2015-539833 (P2015-539833)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/65 (2006.01)

C 0 8 G 18/10 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

B 2 9 C 47/00 (2006.01)

B 2 9 K 83/00 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/65 D

C 0 8 G 18/10

B 3 2 B 27/00 1 0 1

B 3 2 B 27/40

B 2 9 C 47/00

B 2 9 K 83:00

B 2 9 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 8 月 4 日 (2016.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

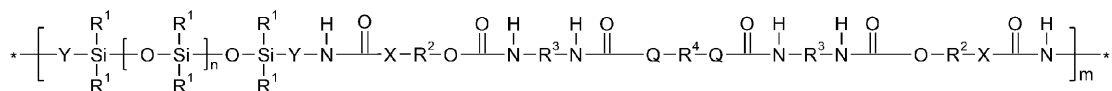
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) の共重合体を含む組成物。

【化 1】



(I)

(式中、

それぞれの R^1 は、独立に、アルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、アリーール、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリーールであり、

それぞれの R^2 は、独立に、アルキレン、又はアリーールで置換されたアルキレン、又はそれらの組合せであり、

それぞれの R^3 は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はアルキル基、ハロ基、オキシ基若しくはカルボジイミド基で置換されたアリーレン、ハロアラルキレン、シクロアルキレン、又はカルボジイミド基で置換されたシクロアルキレン、又はそれらの組合せであ

り、

それぞれの R^4 は、独立に、アルキレン、フルオロアルキレン、アルキレンオキシド、アラルキレン、フルオロアルキレンオキシド、又はそれらの組合せであり、

それぞれの X は、独立に、オキシ又は $-CH_2-$ であり、

それぞれの Y は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はそれらの組合せであり、

Q は、オキシ又は $-NH-$ であり、

n は、 $0 \sim 1500$ の範囲内の整数であり、

m は、少なくとも 1 に等しい整数である）

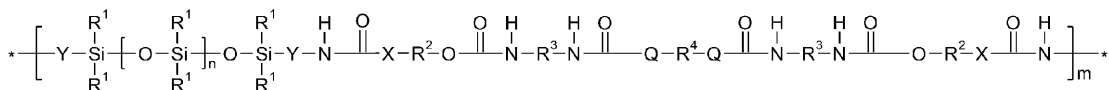
【請求項 2】

物品であって、

第 1 の基材と、

前記基材に隣接したポリマー層とを含み、前記ポリマー層が式 (I) の共重合体を含む、物品。

【化 2】



(I)

(式中、

それぞれの R^1 は、独立に、アルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、アリール、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリールであり、

それぞれの R^2 は、独立に、アルキレン、又はアリールで置換されたアルキレン、又はそれらの組合せであり、

それぞれの R^3 は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はアルキル基、ハロ基、オキシ基若しくはカルボジイミド基で置換されたアリーレン、ハロアラルキレン、シクロアルキレン、又はカルボジイミド基で置換されたシクロアルキレン、又はそれらの組合せであり、

それぞれの R^4 は、独立に、アルキレン、フルオロアルキレン、アルキレンオキシド、アラルキレン、フルオロアルキレンオキシド、又はそれらの組合せであり、

それぞれの X は、独立に、オキシ又は $-CH_2-$ であり、

それぞれの Y は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はそれらの組合せであり、

Q は、オキシ又は $-NH-$ であり、

n は、 $0 \sim 1500$ の範囲内の整数であり、

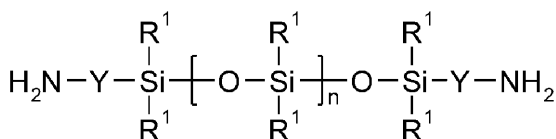
m は、少なくとも 1 に等しい整数である）。

【請求項 3】

共重合体の製造方法であって、

(a) 式 (II) のポリジオルガノシロキサンジアミンを提供するステップと

【化 3】



(II)

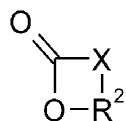
(式中、

それぞれの R^1 は、独立に、アルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、アリール、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリールであり、

それぞれの Y は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はそれらの組合せであり、
n は、0 ~ 1500 の範囲内の整数である）、

(b) 式 (I I) の前記ポリオルガノシロキサンジアミンを式 (I I I) の環式化合物と反応させ、

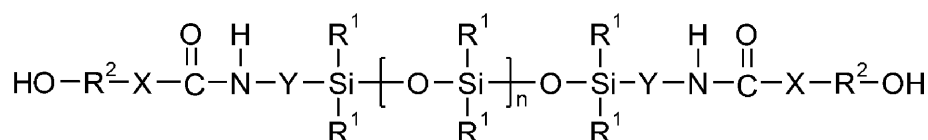
【化 4】



(I I I)

式 (I V) のポリオルガノシロキサンジオールを形成するステップと

【化 5】

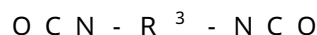


(I V)

(式中、

それぞれの R² は、独立に、アルキレン、又はアリールで置換されたアルキレン、又はそれらの組合せである）、

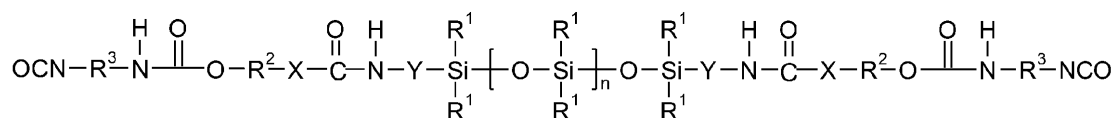
(c) 式 (I V) の前記ポリオルガノシロキサンジオールを式 (V) のジイソシアネートと反応させ、



(V)

式 (V I) のポリオルガノシロキサンジイソシアネートを形成するステップと

【化 6】

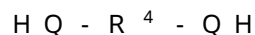


(V I)

(式中、

それぞれの R³ は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はアルキル基、ハロ基、オキシ基若しくはカルボジイミド基で置換されたアリーレン、ハロアラルキレン、シクロアルキレン、又はカルボジイミド基で置換されたシクロアルキレン、又はそれらの組合せである）、

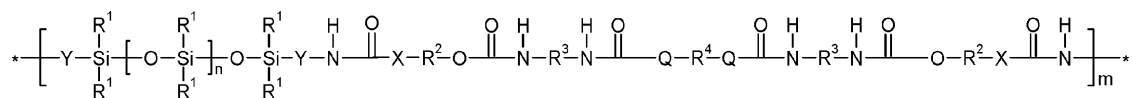
(d) 式 (V I) の前記ポリオルガノシロキサンジイソシアネートを式 (V I I) の鎖延長剤と反応させ、



(V I I)

式 (I) の前記共重合体を形成するステップと

【化 7】



(I)

(式中、

それぞれの R^4 は、独立に、アルキレン、フルオロアルキレン、アルキレンオキシド、アラルキレン、フルオロアルキレンオキシド、又はそれらの組合せであり、

Q はオキシ又は -NH- であり、

m は、少なくとも 1 に等しい整数である)、の生成物を含む工程、を含む、方法。